

# 十和田市立 新渡戸記念館だより

そすい  
農林水産省認定 疏水百選

## 稲生川ガイドマップ完成!

アジサイに彩ら  
れた稲生川の写  
真をアレンジし  
た表紙

稲生川の疏水百選認定を記念して、以前から要望が多く寄せられていた「十和田市立新渡戸記念館 稲生川ガイドマップ」を作成しました。

このマップでは記念館の展示紹介とともに稲生川の取水口から十和田市街地までの流路と主要道路のほか、主な見学スポットをイラストと写真で紹介しています。



▲イラストマップは十和田湖から十和田市街地まで一体的な紹介に努め、十和田市の観光マップとしても活用できるように編集をこころがけました

所蔵資料の写真を多く収録した記念館の展示紹介部分



平成18年8月1日(火)～9月30日(土)



## 「虫」をテーマに稲生川疏水百選記念企画展を開催予定

人工河川・稲生川は農業用水路としての役割はもちろん、その豊かな自然についても評価され、本年2月疏水百選に認定されました。この自然の豊かさをもっとよく表すのが虫たちの活動です。本年はそうした虫たちをテーマに企画展を開催します。三本木原開拓時代の人々と虫とのかかわりをはじめ、新渡戸傳の孫(新渡戸稲造博士の従弟)の昆虫学者・新渡戸稲雄の業績などについても紹介する予定です。



◀昆虫学者・新渡戸稲雄  
青森県内で最初に昆虫についての科学的な研究を行い、りんごの袋かけを最初に行なった人物ではないかといわれていますが、若くして台湾で客死したためにその業績はあまり知られていません。

## 新体制で新渡戸記念館スタート

### 館長代理に新渡戸常憲



館長代理 新渡戸常憲

平成18年度から太素顕彰会が市の指定管理者として、十和田市立新渡戸記念館の管理運営を行うことになりました。新生・新渡戸記念館の運営体制を充実させるため、4月1日から新渡戸常憲を館長代理に迎え、また、事務職員として小笠原純也を新規採用しました。

館長を含め常勤職員4名の新体制で、市民のみなさまへの一層のサービスに努めていきたいと思ひます。



◀事務職員 小笠原純也

## 国土交通省・東北地方整備局情報誌

### T-COM で三本木原開拓紹介

国土交通省東北地方整備局発行「地域づくり情報誌東北コミュニケーションマガジンT-COM」(2006年vol.32)の特集記事“東北歴史探訪”で三本木原開拓が詳しく紹介されました。三本木原開拓について、稲生川の開削と開田だけではなく、都市計画や産業開発も含めた地域の総合開発であることを「原野を潤す田園都市計画」と題し紹介しています。



◀三本木原開拓を写真と図を交えて詳しく紹介

## 平成18年太素祭開催

5月3日～5日

稲生川上水148年記念太素祭が太素塚境内を中心に5月3日(水)～5日(金)に行われ、3日間で約3,500人が来館しました。

### 太素祭式典の日程を変更

例年太素祭の祝宴は、5月4日の日中、太素祭式典の後に開催していましたが、5月3日夕方、前夜祭後のお茶会にかわって祝宴を開催する形に変更しました。祝宴を夜に行うことで、十和田市の街の賑いの一助になればと考えています。また、これまで前夜祭については、太素顕彰会役員にのみご案内していましたが、本年は太素顕彰会特別会員のみなさん全員にご案内しました。

### 稲生川疏水百選記念クイズ大会

記念館では稲生川疏水百選記念・平成18年太素祭クイズ大会「クイズで探検!ニトちゃんとあそぼう!!」を開催しました。稲生川の疏水百選認定にちなみ、記念館グッズや新渡戸稲造の著書、当館ガイドブックなど、全問正解者から抽選で100名に賞品を贈呈しました。また、これまでは館内に設置したクイズパネルを見て回答を記入する形式でしたが、クイズを解きながら太素塚全体を見学できるように配付用紙に問題を刷り込み、「太素塚おさんぽクイズ」と題して太素塚墓所、新渡戸三代の銅像などに関するクイズも設けました。

毎年恒例のクイズ大会にはリピーターも多く、昨年より多い871名が参加し、197名の方がみごと全問正解しました。



◀太素祭の賑い



◀館長代理が太素祭協賛RABカラオケ選手権大会の審査員をつとめました

### 「子どもチャレンジ」を開催

太素祭の最終日5月5日がこどもの日にあたることから、本年の太素祭では例年のイベントの他、とくに子どもたちを対象としたイベント「子どもチャレンジ」を開催しました。太素塚境内には、棒にパンを巻きつけて焼く「棒巻きパン」の体験コーナーや、稲生川のトンネルにちなんだ「ダンボールトンネル」くぐり、フリスビー投げコーナーなどが設けられ、子どもたちの人気を集めていました。

## Yosakoi チーム とわだ. 馬花道が 三本木原開拓をテーマに演舞

“Yosakoi チーム とわだ. 馬花道”が本年のテーマに三本木原開拓を選んで「開拓の父・新渡戸傳～太素 俵積みの舞～」を創作し、各地で発表しています。

平成16年6月に結成した“Yosakoiチーム とわだ. 馬花道”(代表: 對馬秀さん)は、本年のテーマを「新渡戸傳、十次郎親子により恵の水が稲生川に引かれ、緑と豊作に恵まれた十和田市」として、南部俵積唄をアレンジした曲での演舞「開拓の父・新渡戸傳～太素 俵積みの舞～」を創作しました。

5月28日(日)盛岡市で開かれた「第9回 Yosakoi さんさ」、6月9日(金)～11日(日) Yosakoi 発祥の地・札幌市で開催の「第15回 Yosakoi ソーラン祭り」でもこの演舞を披露し、札幌出立前の総仕上げとして、6月4日(日)新渡戸傳の墓所・太素塚への演舞奉納を行いました。演舞前には、チームメンバー44名全員で当館を見学し、三本木原開拓へ理解を深めていました。広漠とした原野・三本木原が、開拓による恵の水で黄金の稲穂纏

く沃野に変わる様子を、すばやいフォーメーションと衣装の変化で巧みに表現し、奉納の踊りを見ようと太素塚に集まった観衆を沸かせていました。



▲開拓前の原野をイメージした茶色の衣装での踊り



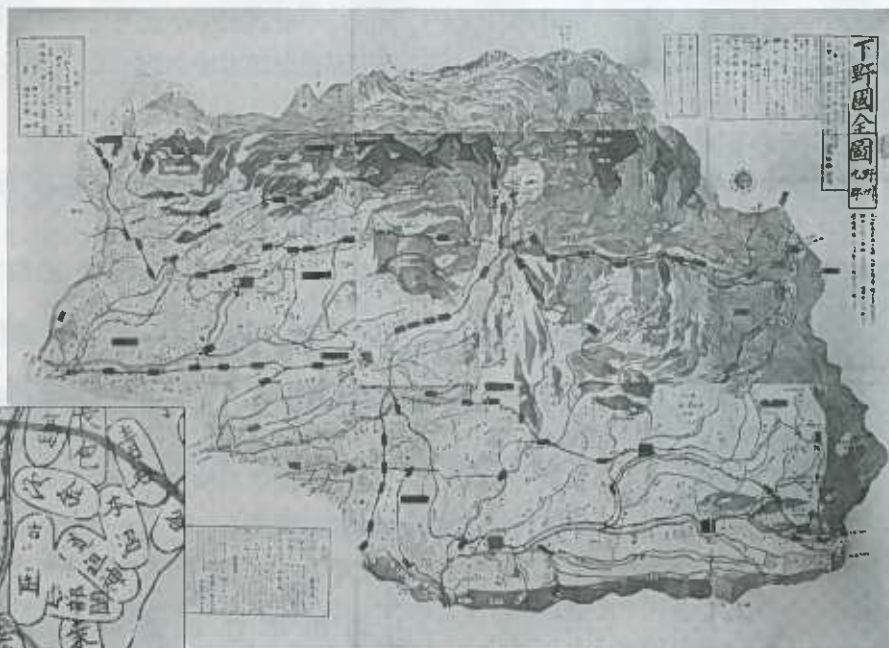
▲水色と黄色の鮮やかな衣装に早がわりしてのフィナーレ

## 収蔵資料紹介

資料名：<sup>しもつけ</sup>下野国全図 野州九郡  
サイズ：縦91.6×横125.2(cm)

『新渡戸氏系譜』には、源頼朝に従った初代・千葉常秀が奥州合戦の途中、手柄により下野国新渡戸、高岡、青谷の三郷を拝領し、後に子孫が住んで新渡戸を名乗ったと記されています。

下野国を描いたこの絵図面は、新渡戸姓の由来となった「新渡戸」(水戸部)の地名が記された資料です。



◀新渡戸(水戸部)・高岡・青谷の記載部分

### ご冥福をお祈り申し上げます



元太素顕彰会副会長の稲本純一氏（十和田信用金庫会長・鳩正宗取締役会長・十和田商工会議所会頭）が平成18年3月15日（水）逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### ありがとうございました

- 東秀夫さん（市内沢田）からクマガイソウをいただきました。
- 高橋謙悦さん（市内西十六番町）からフシグロセンノウ、スズラン（ピンク）をいただきました。
- 佐藤倉吉さん（市内東十二番町）からさまざまな山野草をいただきました。



▲いただいたクマガイソウ

### 関連情報

#### ◆太素塚・春の清掃奉仕

- 4月22日（土） 小さな親切運動市内会員 様
- 4月27日（木） 十和田東ロータリークラブ 様
- 4月29日（土）・5月8日（月）・6月4日（日） 本瀬戸山老成会 様 ありがとうございます

#### ◆映画「アオグラ」の撮影が太素塚で行われました

十和田市出身の作家・川上健一さんの小説『四月になれば彼女は』を原作にした映画「アオグラ」（監督：小林要／出演：内田朝陽、橋爪遼、阪田瑞穂 ほか）の撮影が4月6日（木）太素塚で行われました。この映画は、1968年の春、十和田市と三沢市を舞台に、高校を卒業し就職や進学というそれぞれの道を目指した若者たちのある一日を描いた青春映画です。

7月に県内各地で行われる「あおもり映画祭」で先行上映され、9月から東京テアトル系映画館で全国公開されます。



◀太素塚での撮影風景

### 〈編集後記〉

太素顕彰会の指定管理者制度導入や館長代理の就任、太素祭式典の内、祝賀会の日程変更など、変化の多い年度末ならびに年度始めでした。市民の皆様のご協力を得て、一步一步前進していきたいと思っております。

◆平成17年12月1日（木）～平成18年6月30日（金）の来館小学校 <十和田市>下切田小学校・深持小学校・十和田湖小学校 <南部町>南部小学校 <下田町>木ノ下小学校

#### ◆PHP研究所『ほんとうの時代』で新渡戸稲造を紹介

PHP研究所の月刊誌『ほんとうの時代』2006年6月号連載記事「人物記念館を訪ねる旅 第9回」に新渡戸稲造が取り上げられ、当館が花巻新渡戸記念館とともに紹介されました。



当館所蔵の新渡戸稲造▶愛用ステッキ等が写真で紹介されました

### 活動報告

◆5月19日（金）館長代理が三村青森県知事を表敬訪問しました

三村知事の講演をまとめた小冊子『攻めの農林水産業』をいただきました



#### ◆館長講演会

- 6月9日（金）平成18年度青森県高等学校PTA連合大会（古牧温泉瑞鳳殿）
- 6月24日（土）平成18年度那須野が原セミナー（那須塩原市那須野が原博物館）

#### ◆博物館関係会議等への出席

- 6月15日（木）青森県博物館等協議会理事会・総会（青森市）館長代理出席
- 6月27日（火）青森県立郷土館協議会（青森市）館長出席

#### ◆太素顕彰会理事・評議員会開催

6月21日（水）10時30分から十和田市本庁本館議会議室において平成18年度第一回太素顕彰会理事会・評議員会を開催し、平成17年度収支決算報告ならびに事業報告について審議が行われます。

発行 太素顕彰会  
 十和田市立新渡戸記念館  
 ☎034-0031 青森県十和田市東三番町24-1  
 TEL (FAX) 0176-23-4430  
 E-mail:nitobemmm@hi-net.ne.jp  
 http://www.towada.or.jp/nitobe/  
 印刷 株式会社 岩間印刷